

でしたちを しゅくふくされるイエス

だい47しょう



ある日、でしたちがあつまって、だんじきし、いのっているとき、イエス・キリストがみすがたをあらわされました。(3ニーファイ27：1-2)



でしたちは、^{きょうかい}教会にどんな^{なまえ}名前をつけたらよいか、たずねました。するとイエスは、「わたしの^{きょうかい}教会なのだから、わたしの^な名でよびなさい」とおっしゃいました。(3ニーファイ27：3、7)



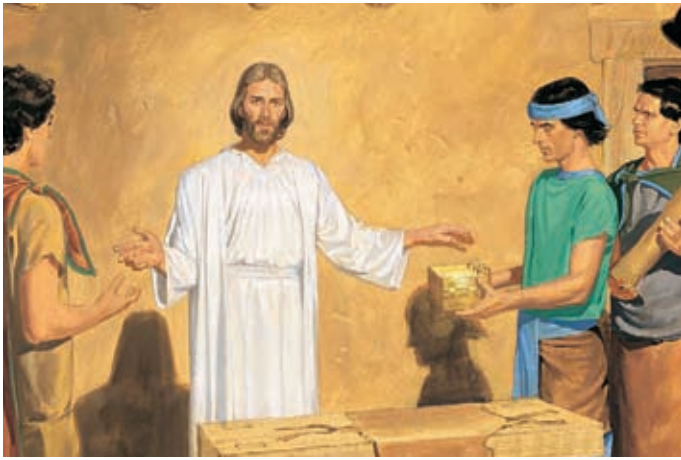
そして、でしたちにこうお話しになりました。「^{てんぶ}天父は、すべての人にいのちをあたえるために、わたしをつかわされました。」(3ニーファイ27：14)



「くいあらためて、わたしの^な名によってバプテスマをうけ、いましめをまもる人はだれでも、^{てんぶ}天父の前でつみのないものとされます。」(3ニーファイ27：16)



「わたしがした^{おこな}行いを、あなたがたもしなさい。」すくいぬしはでしたちに、もはんをしめされたのです。(3ニーファイ27：21)



イエスは、こうもおっしゃいました。「人びとが知るように、あなたがたは見たこと、聞いたことを書きしるしなさい。」(3ニーファイ27：23-25)



それから一人一人に、「わたしに何をねがうか」とお聞きになりました。9人は一生をおえたら、イエスとともにいたいとねがいました。(3ニーファイ28：1-2)



そこで、イエスは9人に「あなたがたは72才になったら、天国のわたしのもつに來るでしょう」と言われました。(3ニーファイ28：3)



ほかの3人は、思い切つて言えないでいましたが、イエスにはその思いが分かっておられました。3人はイエスのさいりんまで、生き長らえて、人びとにふくいんをつたえたいと思つていたので。(3ニーファイ28：5-6, 9)



すくいぬしは、3人に言われました。「あなたがたはくるしみも、しをあげようともありません。わたしがもどつて來るまで、ふくいんをつたえるでしょう。」(3ニーファイ28：7-9)



イエスは、とどまることになつた3人をのぞいて、ほかのぜんいんにゆびでふれ、それからさつて行かれました。(3ニーファイ28：12)



3人のでしたちは、天に引き上げられて、たくさんのすばらしいことを、見たり聞いたりしました。神についてのことをよく理解できるようになりました。(3ニーファイ28：13, 15)



3人の体は、しないようにかえられました。(3ニーファイ28：15)



3人は地上にもどって来ると、教えをとき、バプテスマをほどこしはじめました。(3ニーファイ28：16, 18)



わるいニーファイ人たちは、3人をころそうとして、ろうやにとじこめたり、ふかいあなの中になげこんだりしました。けれども、3人は、神の力によってすぐわれました。(3ニーファイ28：19-20)



もえるろの中や、もうじゅうのあなの中になげこまれた時も、神の力によってまもられました。(3ニーファイ28：21-22)



3人はニーファイ人に、イエス・キリストのふくいんをときつづけました。今も、ほかの人びとにふくいんをのべつたえています。(3ニーファイ28：23, 27-29)